

様式第2号の1-②【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の1-①を用いること。

学校名	岩手公務員・医療・ビジネス専門学校
設置者名	学校法人コアトレース 理事長 久保 榮子

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

課程名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数又は授業時数	省令で定める基準単位数又は授業時数	配置困難
商業実務 専門課程	総合学科 行政ビジネスコース 公安スポーツコース	夜・通信		160	※
	総合学科 医療ビジネスコース	夜・通信	915	160	
	教養学科 公務員専修コース	夜・通信		80	※
	教養学科 医療ケア専修コース ナースング専修コース	夜・通信	585	80	
(備考) 令和2年度より教育課程を変更したため、今年度配置している授業科目での時数である。					

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

<a href="http://iwakou.ac.jp/pg2185.html">http://iwakou.ac.jp/pg2185.html</a>
---

3. 要件を満たすことが困難である学科

学科名	総合学科（行政ビジネスコース・公安スポーツコース） 教養学科（公務員専修コース）
(困難である理由) 上記の※印記載のコースについては公務員試験対策を主とするコースであり、実務経験を生かした実践的な教育という要件を満たすことが困難である。	

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	岩手公務員・医療・ビジネス専門学校
設置者名	学校法人コアトレース 理事長 久保 榮子

1. 理事（役員）名簿の公表方法

<a href="http://iwakou.ac.jp/pg2185.html">http://iwakou.ac.jp/pg2185.html</a>
---

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
非常勤	有限会社役員	2019.4.1～ 2023.3.31 4年	理事会に出席し、法人本部の資料に基づき、この法人の業務を決する
非常勤	株式会社役員	2019.4.1～ 2023.3.31 4年	理事会に出席し、法人本部の資料に基づき、この法人の業務を決する
(備考) 学外者である理事は合計3名である。			

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	岩手公務員・医療・ビジネス専門学校
設置者名	学校法人コアトレース 理事長 久保 榮子

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

<p>1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。</p>	
<p>(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・授業計画については、各科目担当者が「授業のねらいと概要」「授業計画」「授業の到達目標」「教科書」「評価方法」等について作成し、教務主任を中心に取りまとめ、系統毎に集約して作成している。</li> <li>・年度初めに、冊子として生徒へ配付、並びにホームページへの公表を行っている。</li> </ul>	
授業計画書の公表方法	<a href="http://iwakou.ac.jp/pg2185.html">http://iwakou.ac.jp/pg2185.html</a>
<p>2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。</p>	
<p>(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)</p> <p>単位認定方法・基準は以下の通り生徒へ提示し、評価を行っている。</p> <p>●学生便覧P13 「2. 履修の手引き」より</p> <p>6. 学習評価と単位の認定</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・単位の認定は考查の結果による学習評価と出席時数の充足を基に判定する。</li> <li>・本校の教育課程の出席時数が3分の2に満たない者は単位の認定はしない。</li> </ul> <p>●学生便覧P14 「学習評価」より</p> <p>単位認定試験</p> <p>定期考查は、前期(4月～9月)・後期(10月～3月)の2回とする。ただし、半期をもって終了する場合には1回とする。</p> <p>学習成績の評価</p> <p>成績評価は、A(80点以上)、B(79点～65点)、C(64点～50点)、D(50点未満)の4段階とし、D評価は不合格とする。</p>	

<p>3. 成績評価において、G P A等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。</p> <p>(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)</p> <p>・成績は100点満点の本校基準により「A、B、C、D」の4段階として評価し、点数の平均値を基に成績の分布状況を指標として設定している。</p> <p>以上の基準により、客観的な指標を設定し数値を算出して、適切に実施している。</p>	
<p>客観的な指標の 算出方法の公表方法</p>	<p><a href="http://iwakou.ac.jp/pg2185.html">http://iwakou.ac.jp/pg2185.html</a></p>
<p>4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。</p> <p>(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)</p> <p>卒業については以下の通り生徒へ提示し、認定を行っている。</p> <p>●学生便覧P14 「学習評価」より 1 進級および卒業の認定は学則第24条の規定により、職員会議を経て学校長が認定する。 単位認定試験 定期考査は、前期（4月～9月）・後期（10月～3月）の2回とする。ただし、半期をもって終了する場合には1回とする。</p> <p>●学生便覧P15 「2. 履修の手引き」より</p> <p>・所定の課程を修了した者には、卒業を認める。 ただし、学科目及び学習の成績が合格基準に達しないときには卒業を認めない。</p> <p>以上の基準により、卒業判定会議を経て所定の課程の単位修得の認定を受け、卒業認定がされる。</p> <p>【ディプロマ・ポリシー】 また本校は、次の能力を修得し、所定の課程を修了したものに、卒業を認定する。</p> <p>●勤労と責任を重んじ、全体の奉仕者に相応しい社会人基礎力を持つ人材 ●超高齢社会にあつて、多様化、複雑化する医療現場に貢献できる人材 ●高いコミュニケーション能力と倫理観を有し、責任ある行動の取れる人材</p> <p>以上の求める人材像への到達度も加味し、卒業認定を行っている。</p>	
<p>卒業の認定に関する 方針の公表方法</p>	<p><a href="http://iwakou.ac.jp/pg2185.html">http://iwakou.ac.jp/pg2185.html</a></p>

様式第2号の4-②【(4)財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の4-①を用いること。

学校名	岩手公務員・医療・ビジネス専門学校
設置者名	学校法人コアトレース 理事長 久保 榮子

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	<a href="http://iwakou.ac.jp/pg2185.html">http://iwakou.ac.jp/pg2185.html</a>
収支計算書又は損益計算書	<a href="http://iwakou.ac.jp/pg2185.html">http://iwakou.ac.jp/pg2185.html</a>
財産目録	<a href="http://iwakou.ac.jp/pg2185.html">http://iwakou.ac.jp/pg2185.html</a>
事業報告書	<a href="http://iwakou.ac.jp/pg2185.html">http://iwakou.ac.jp/pg2185.html</a>
監事による監査報告（書）	<a href="http://iwakou.ac.jp/pg2185.html">http://iwakou.ac.jp/pg2185.html</a>

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

(1)

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
商業実務		商業実務 専門課程	総合学科 行政ビジネスコース 公安スポーツコース	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	1710 単位時間	1350 <small>単位時間</small>	360 <small>単位時間</small>	<small>単位時間</small>	<small>単位時間</small>	<small>単位時間</small>
			1710 単位時間				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
学科全体の 総定員数 160人の内数		5人	0人	学校全体の 専任教員 6人の内数	学校全体の 兼任教員 25人の内数	学校全体の 総教員数 31人の内数	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
<p>（概要）</p> <p>授業は、講義・演習・実習により、公務員試験対策および就職対策に係る知識・技術の習得する内容となっている。</p> <p>授業計画については、各科目担当者が「授業のねらいと概要」「授業計画」「授業の到達目標」「教科書」「評価方法」等について作成し、系統毎に集約して作成している。</p>
成績評価の基準・方法
<p>（概要）</p> <p>成績評価は、学期末に行う考査の結果による学習評価と出席時数の充足を基に判定する。ただし、本校の教育課程の出席時数が3分の2に満たない者は単位の認定はしない。</p> <p>学習評価は、前期（4月～9月）・後期（10月～3月）各学期の定期試験（期末試験）、出席状況及び平常の学習態度に基づいて行う。成績評価は、A（80点以上）、B（79</p>

点～65点)、C(64点～50点)、D(50点未満)の4段階とし、D評価は不合格とする。
卒業・進級の認定基準
(概要) ・第1学年より第2学年に進級するためには、第1学年の履修科目全ての単位の認定がされなければならない。認定されない場合は原級留置とする。 ・所定の課程を修了した者には、卒業を認める。ただし、学科目及び学習の成績が合格基準に達しないときには卒業を認めない。
学修支援等
(概要) 担任制・少人数制により、きめ細やかな指導を行っている。面談による学修・就職支援を随時実施している。

卒業生数、進学者数、就職者数(直近の年度の状況を記載)			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
6人 (100%)	0人 (0%)	6人 (100%)	0人 (0%)
(主な就職、業界等) 公務員、その他民間企業			
(就職指導内容) 進路希望調査、面談、募集要項・求人票閲覧、書類記入指導、面接対策、試験後指導			
(主な学修成果(資格・検定等)) 漢字検定、社会人常識マナー検定、文書処理能力検定、簿記能力検定、ファイナンシャルプランニング検定、ITパスポート、文章読解・作成能力検定ほか			
(備考)(任意記載事項)			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
8人	2人	25%
(中途退学の主な理由) 公務員として進路決定の為		
(中退防止・中退者支援のための取組) 入学前に進路とカリキュラムの整合性確認、ならびに入学後の綿密な面談		

(2)

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
商業実務		商業実務 専門課程	総合学科 医療ビジネスコース	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	1710 単位時間	1110 単位時間	420 単位時間	180 単位時間		
			1710 単位時間				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
学科全体の 総定員数 160 人の内数		25 人	0 人	学校全体の 専任教員 6 人の内数	学校全体の 兼任教員 25 人の内数	学校全体の 総教員数 31 人の内数	

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)
<p>(概要)</p> <p>授業は、講義・演習・実習により、医療系各種検定試験および就職対策に係る知識・技術の習得する内容となっている。</p> <p>授業計画については、各科目担当者が「授業のねらいと概要」「授業計画」「授業の到達目標」「教科書」「評価方法」等について作成し、系統毎に集約して作成している。</p>
成績評価の基準・方法
<p>(概要)</p> <p>成績評価は、学期末に行う考査の結果による学習評価と出席時数の充足を基に判定する。ただし、本校の教育課程の出席時数が3分の2に満たない者は単位の認定はしない。</p> <p>学習評価は、前期(4月～9月)・後期(10月～3月)各学期の定期試験(期末試験)、出席状況及び平常の学習態度に基づいて行う。成績評価は、A(80点以上)、B(79点～65点)、C(64点～50点)、D(50点未満)の4段階とし、D評価は不合格とする。</p>
卒業・進級の認定基準
<p>(概要)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・第1学年より第2学年に進級するためには、第1学年の履修科目全ての単位の認定がされなければならない。認定されない場合は原級留置とする。</li> <li>・所定の課程を修了した者には、卒業を認める。ただし、学科目及び学習の成績が合格基準に達しないときには卒業を認めない。</li> </ul>
学修支援等
<p>(概要)</p> <p>担任制・少人数制により、きめ細やかな指導を行っている。面談による学修・就職支援を随時実施している。</p>

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
16人 (100%)	0人 (%)	16人 (100%)	0人 (%)
（主な就職、業界等） 医療機関、その他民間企業			
（就職指導内容） 進路希望調査、面談、募集要項・求人票閲覧、書類記入指導、面接対策、試験後指導			
（主な学修成果（資格・検定等））  日本歯科医師会認定歯科助手、メディカルフロント・コンシェルジュ、介護職員初任者研修、診療報酬請求事務能力検定、医療事務管理士、医療秘書技能検定、医師事務作業補助技能認定試験、医事コンピュータ技能検定試験、メンタルヘルス・マネジメント検定ほか			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
35人	0人	0%
（中途退学の主な理由） 進路変更の為		
（中退防止・中退者支援のための取組） 入学前に進路とカリキュラムの整合性確認、ならびに入学後の綿密な面談		

(3)

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
商業実務		商業実務 専門課程	教養学科 公務員専修コース				
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
1年	昼	810 単位時間	630 単位時間	180 単位時間			
			810 単位時間				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
学科全体の 総定員数 40人の内数		28人	0人	学校全体の 専任教員 6人の内数	学校全体の 兼任教員 25人の内数	学校全体の 総教員数 31人の内数	



カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
<p>（概要）</p> <p>授業は、講義・演習・実習により、公務員試験対策および就職対策に係る知識・技術の習得する内容となっている。</p> <p>授業計画については、各科目担当者が「授業のねらいと概要」「授業計画」「授業の到達目標」「教科書」「評価方法」等について作成し、系統毎に集約して作成している。</p>
成績評価の基準・方法
<p>（概要）</p> <p>成績評価は、学期末に行う考査の結果による学習評価と出席時数の充足を基に判定する。ただし、本校の教育課程の出席時数が3分の2に満たない者は単位の認定はしない。</p> <p>学習評価は、前期（4月～9月）・後期（10月～3月）各学期の定期試験（期末試験）、出席状況及び平常の学習態度に基づいて行う。成績評価は、A（80点以上）、B（79点～65点）、C（64点～50点）、D（50点未満）の4段階とし、D評価は不合格とする。</p>
卒業・進級の認定基準
<p>（概要）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・第1学年より第2学年に進級するためには、第1学年の履修科目全ての単位の認定がされなければならない。認定されない場合は原級留置きとする。</li> <li>・所定の課程を修了した者には、卒業を認める。ただし、学科目及び学習の成績が合格基準に達しないときには卒業を認めない。</li> </ul>
学修支援等
<p>（概要）</p> <p>担任制・少人数制により、きめ細やかな指導を行っている。面談による学修・就職支援を随時実施している。</p>

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
15人 (100%)	0人 (0%)	15人 (100%)	0人 (0%)
<p>（主な就職、業界等）</p> <p>公務員、その他民間企業</p>			
<p>（就職指導内容）</p> <p>進路希望調査、面談、募集要項・求人票閲覧、書類記入指導、面接対策、試験後指導</p>			
<p>（主な学修成果（資格・検定等））</p> <p>漢字検定、社会人常識マナー検定、文書処理能力検定、簿記能力検定、ファイナンシャルプランニング検定、ITパスポート、文章読解・作成能力検定ほか</p>			
<p>（備考）（任意記載事項）</p>			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
22人	2人	0.9%
(中途退学の主な理由) 公務員として進路決定、及び進路変更の為		
(中退防止・中退者支援のための取組) 入学前に進路とカリキュラムの整合性確認、ならびに入学後の綿密な面談		

(4)

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
商業実務		商業実務 専門課程	教養学科 医療ケア専修コース ナース専修コース				
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
1年	昼	810 単位時間	285 <small>単位時間</small>	480 <small>単位時間</small>	45 <small>単位時間</small>	<small>単位時間</small>	<small>単位時間</small>
			810 単位時間				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
学科全体の 総定員数 40人の内数		2人	0人	学校全体の 専任教員 6人の内数	学校全体の 兼任教員 25人の内数	学校全体の 総教員数 31人の内数	

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)
(概要) 授業は、講義・演習・実習により、医療系各種検定試験および就職対策に係る知識・技術の習得する内容となっている。 授業計画については、各科目担当者が「授業のねらいと概要」「授業計画」「授業の到達目標」「教科書」「評価方法」等について作成し、系統毎に集約して作成している。
成績評価の基準・方法
(概要) 成績評価は、学期末に行う考査の結果による学習評価と出席時数の充足を基に判定する。ただし、本校の教育課程の出席時数が3分の2に満たない者は単位の認定はしない。 学習評価は、前期(4月～9月)・後期(10月～3月)各学期の定期試験(期末試験)、出席状況及び平常の学習態度に基づいて行う。成績評価は、A(80点以上)、B(79点～65点)、C(64点～50点)、D(50点未満)の4段階とし、D評価は不合格とする。
卒業・進級の認定基準
(概要) ・第1学年より第2学年に進級するためには、第1学年の履修科目全ての単位の認

<p>定がされなければならない。認定されない場合は原級留置きとする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 所定の課程を修了した者には、卒業を認める。ただし、学科目及び学習の成績が合格基準に達しないときには卒業を認めない。</li> </ul>
<p>学修支援等</p> <p>(概要)</p> <p>担任制・少人数制により、きめ細やかな指導を行っている。面談による学修・就職支援を随時実施している。</p>

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
5人 (100%)	0人 (0%)	5人 (100%)	0人 (0%)
(主な就職、業界等) 医療機関、その他民間企業			
(就職指導内容) 進路希望調査、面談、募集要項・求人票閲覧、書類記入指導、面接対策、試験後指導			
(主な学修成果（資格・検定等）) 日本歯科医師会認定歯科助手、メディカルフロント・コンシェルジュ、介護職員初任者研修、診療報酬請求事務能力検定、医療事務管理士、医療秘書技能検定、医師事務作業補助技能認定試験、医事コンピュータ技能検定試験、メンタルヘルス・マネジメント検定ほか			
(備考) (任意記載事項)			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
3人	0人	0%
(中途退学の主な理由)		
(中退防止・中退者支援のための取組) 入学前に進路とカリキュラムの整合性確認、ならびに入学後の綿密な面談		

②学校単位の情報

a) 「生徒納付金」等

学科名	入学金	授業料 (年間)	その他	備考 (任意記載事項)
総合学科 行政ビジネスコース 公安スポーツコース	100,000 円	600,000 円 円	280,000 円 円	その他：維持費、 施設設備費
教養学科 公務員専修コース		500,000 円 円	390,000 円 円	
総合学科 医療ビジネスコース	100,000 円			
教養学科 医療クーク専修コース ナースング専修コース		500,000 円 円	390,000 円 円	
修学支援（任意記載事項）				
学力試験・部活動の成績・取得資格に応じランクを設定し、最大で2年間の学費全額免除となる特待生制度を設定している。				

b) 学校評価

自己評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) <a href="http://iwakou.ac.jp/pg2185.html">http://iwakou.ac.jp/pg2185.html</a>
学校関係者評価の基本方針（実施方法・体制）
<p>○基本方針</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学校関係者評価は、「学校法人コアトレース自己点検・評価規定」により実施された結果をもとに行う。</li> <li>・評価活動を通じたコミュニケーションにより、学校側との理解を深める。</li> <li>・学校と一緒にあって生徒のことを考え、それぞれの立場、視点から意見を出し合うことで「よりよい学校作り」の一助とする。</li> <li>・「学校関係者評価」を基に、学校関係者委員会が当該校に「改善提案」を行い、教育活動や学校運営等に反映させる。</li> </ul> <p>○評価委員会の構成</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・委員会は、企業の専門家、医療・福祉の有識者、保護者、地域住民等の学校関係者により構成された「学校関係者委員」により組織する。</li> <li>・委員の定員は、5名を原則とする。</li> <li>・委員の任期は2年とする。ただし、再任は妨げない。</li> </ul> <p>○評価項目</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「専修学校における学校評価ガイドライン」の項目に則り、学校が設定する評価項目内容で評価をしている。①教育理念②学校運営③教育活動④教育成果⑤生徒支援⑥教育環境⑦生徒募集と受入⑧財務⑨法令等の遵守⑩社会貢献</li> </ul> <p>○評価の実施</p> <p>原則として1年間に1回学校関係者評価委員会を開催している。 なお、学校関係者評価委員会開催前に、上記評価項目で実施した「自己点検・評価」の資料を配布する。</p>

学校関係者評価の委員		
所属	任期	種別
岩手県歯科医師会 常務理事	2019年12月1日～ 2021年3月31日(2年)	企業等委員
株式会社盛岡中央劇場 取締役社長	2019年12月1日～ 2021年3月31日(2年)	企業等委員
盛岡市職員	2019年12月1日～ 2021年3月31日(2年)	卒業生
学校関係者評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) <a href="http://iwakou.ac.jp/pg2185.html">http://iwakou.ac.jp/pg2185.html</a>		
第三者による学校評価 (任意記載事項)		

c) 当該学校に係る情報

(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) <a href="http://iwakou.ac.jp/pg2185.html">http://iwakou.ac.jp/pg2185.html</a>
--

(別紙)

※この別紙は、更新確認申請の場合に提出すること。

※以下に掲げる人数を記載すべき全ての欄について、該当する人数が1人以上10人以下の場合には、当該欄に「-」を記載すること。該当する人数が0人の場合には、「0人」と記載すること。

学校名	岩手公務員・医療・ビジネス専門学校
設置者名	学校法人コアトレース 理事長 久保 榮子

1. 前年度の授業料等減免対象者及び給付奨学生の数

		前半期	後半期	年間
支援対象者（家計急変による者を除く）		0人	0人	0人
内 訳	第Ⅰ区分	0人	0人	
	第Ⅱ区分	0人	0人	
	第Ⅲ区分	0人	0人	
家計急変による支援対象者（年間）				0人
合計（年間）				0人
(備考)				

※本表において、第Ⅰ区分、第Ⅱ区分、第Ⅲ区分とは、それぞれ大学等における修学の支援に関する法律施行令（令和元年政令第49号）第2条第1項第1号、第2号、第3号に掲げる区分をいう。

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

2. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の取消しを受けた者及び給付奨学生認定の取消しを受けた者の数

(1) 偽りその他不正の手段により授業料等減免又は学資支給金の支給を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

年間	0人
----	----

(2) 適格認定における学業成績の判定の結果、学業成績が廃止の区分に該当したことにより認定の取消しを受けた者の数

	右以外の大学等		
	年間	前半期	後半期
修業年限で卒業又は修了できないことが確定	0人	0人	0人
修得単位数が標準単位数の5割以下 (単位制によらない専門学校にあっては、履修科目の単位時間数が標準時間数の5割以下)	0人	0人	0人
出席率が5割以下その他学修意欲が著しく低い状況	0人	0人	0人
「警告」の区分に連続して該当	0人	0人	0人
計	0人	0人	0人
(備考)			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

上記の(2)のうち、学業成績が著しく不良であると認められる者であって、当該学業成績が著しく不良であることについて災害、傷病その他やむを得ない事由があると認められず、遑って認定の効力を失った者の数

右以外の大学等		短期大学（修業年限が2年のものに限る、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）			
年間	0人	前半期	0人	後半期	0人
(備考)					

(3) 退学又は停学（期間の定めのないもの又は3月以上の期間のものに限る。）の処分を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

退学	0人
3月以上の停学	0人
年間計	0人
(備考)	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

3. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の効力の停止を受けた者及び給付奨学生認定の効力の停止を受けた者の数

停学（3月未満の期間のものに限る。）又は訓告の処分を受けたことにより認定の効力の停止を受けた者の数

3月未満の停学	0人
訓告	0人
年間計	0人
(備考)	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

4. 適格認定における学業成績の判定の結果、警告を受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学（修業年限が2年のもの 限り、認定専攻科を含む。）、高等 専門学校（認定専攻科を含む。）及 び専門学校（修業年限が2年以下の ものに限る。）	
		年間	前半期
修得単位数が標準単位数 の6割以下 (単位制によらない専門学校に あつては、履修科目の単位時間数 が標準時間数の6割以下)	0人	0人	0人
GPA等が下位4分の1	0人	0人	0人
出席率が8割以下その他 学修意欲が低い状況	0人	0人	0人
計	0人	0人	0人
(備考)			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

備考 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とする。